

コンテナ表面の放射線量（仙台塩釜港仙台港区高砂コンテナターミナル）

【 令和7年 9月 】

(単位: 個,  $\mu\text{Sv}/\text{h}$ )

月日	サンプル数	最大値	最小値	大気中の放射線量	対応必要コンテナ
9月1日 (月曜日)	154	0.073	0.066	0.065	0
9月2日 (火曜日)	153	0.074	0.066	0.065	0
9月3日 (水曜日)	155	0.073	0.065	0.067	0
9月4日 (木曜日)	130	0.078	0.067	0.069	0
9月5日 (金曜日)	145	0.074	0.066	0.067	0
9月6日 (土曜日)	37	0.070	0.066	0.066	0
9月8日 (月曜日)	161	0.078	0.065	0.067	0
9月9日 (火曜日)	144	0.075	0.066	0.066	0
9月10日 (水曜日)	174	0.077	0.065	0.066	0
9月11日 (木曜日)	143	0.076	0.066	0.066	0
9月12日 (金曜日)	151	0.072	0.066	0.065	0
9月13日 (土曜日)	33	0.072	0.067	0.070	0
9月16日 (火曜日)	188	0.094	0.066	0.065	0
9月17日 (水曜日)	165	0.084	0.066	0.067	0
9月18日 (木曜日)	174	0.080	0.066	0.067	0
9月19日 (金曜日)	171	0.074	0.064	0.065	0
9月20日 (土曜日)	50	0.072	0.066	0.066	0
9月22日 (月曜日)	170	0.074	0.065	0.065	0
9月24日 (水曜日)	178	0.073	0.065	0.065	0
9月25日 (木曜日)	165	0.074	0.065	0.065	0
9月26日 (金曜日)	146	0.073	0.065	0.065	0
9月27日 (土曜日)	46	0.070	0.065	0.066	0
9月29日 (月曜日)	159	0.073	0.066	0.066	0
9月30日 (火曜日)	115	0.074	0.065	0.065	0
合計	3,033	-	-	-	0

※最大値及び最小値は、コンテナ表面のセシウム137以外の自然由来（ラジウム等）の放射性物質をもした場合にも測定値が高くなることがあります。

測定値が下記基準値を超過した場合、エネルギー分析の結果が原発事故由来の放射性物質であるセシウム137以外の場合は、対応必要コンテナに計上しません。

除染基準値：バックグラウンド値（大気中の放射線量）×3または $0.2\mu\text{Sv}/\text{h}$ +バックグラウンド値（いずれか高い方の値）

通報基準値： $5\mu\text{Sv}/\text{h}$